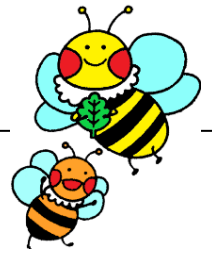




いぶき

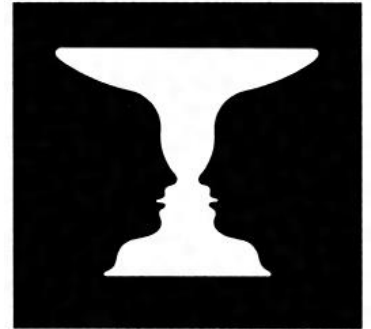
【学校教育目標】自律・尊重



見方を変えて味方になる…

右の図を見てください。皆さんの目には何が見えますか？

「白い^{さかすき}盃」が見えるでしょうか。それとも「人が向かい合っている横顔」が見えるでしょうか。これは「ルビンの^{さかすき}盃」として知られた図です。人間のものの見え方には「^す図」と「^う地」があるということを示しています。「^す図」とは、そのものに注意が向かい形として認識されている部分を指します。一方「^う地」とは、背景となって形として認識されない部分を指します。白い部分が「^す図」（^{さかすき}盃）として認識される時、黒い部分は背景となり、黒い部分が「^す図」（人が向かい合っている横顔）と認識される時、白い部分は背景となります。（少しややこしいですね…）



さて、この見え方の違いは、私たちに大切なことを教えてくれます。「人の見方は一様ではない」ということ。そして、「人は自分の見たいように事象（世界）を見ている」ということです。

私たちは日々子どもたちの姿（言動）を目にしています。その時、ややもすると「自分の見ている子ども」が「子どもたちの姿」であると考えがちです。もちろんそれは、受け止めた人にとっての一面的な真実ではあります（間違いではありません）。ただし、気をつけなければならないのは、「自分の見ている子ども」が「子どもという存在の全てではない」ということです。

例えばここに、太郎君という男の子がいます。Aさんはこう言います。

「太郎君は落ち着きがない。自己中心的でいつも自分の考えを通そうとする。周囲の仲間や状況を見ようとしないから、すぐトラブルになる。将来どうなることやら。」

しかし、Bさんはこう言います。

「太郎君には行動力がある。やる気に満ちていて自分の意見を明確に示すことができる。リーダーの資質がある。将来有望だ。」

こういうことって、学校現場でもよく起こります。目の前にいるのは、「どちらも同じ太郎君」です。しかし、真逆と言ってもいいほど、「見る人によって見方が違う」わけですね。

なぜ、こんなことが起きるのか。それは先ほどもお伝えした通り、「人は自分の見たいように事象（世界）を見ている」からです。

ではここで問題です。AさんとBさんのどちらかが太郎君の担任になるとします。どちらの先生に担任してもらった方が、太郎君は成長するのでしょうか。

もうお分かりですね。正解は「Bさん」です。なぜか。それは「他者からの『期待』があることで、本人の意識や行動が変容し、期待通りの成果が現れやすくなる」からです。これは、教育心理学の世界で実証されており、「ピグマリオン効果」と呼ばれています。たとえば、「君はやればできる」「君はリーダーになる素質がある」「音楽が得意なんだから、数学だって必ずできるようになる」というように、教師が期待して子どもを見守ることで、子どもが教師の期待通りに成長を遂げるということですね。ちなみに、この逆もあります。「ゴーレム効果」と呼ばれています。「否定的な見方、ネガティブな見られ方をすると、子どもはその通りの方向に進んでいく」というものです。恐ろしいですね…。

実は、今日話題に取り上げた「太郎くん」は、子どもの頃の私です。これでもAさんは、かなり控えめに見てくれています。実際の私の素行の悪さは、こんなものではなかったの…。

さて、私たち大人は子どもたちの「よりよい成長」を願っています。「悪い子に育てたい」「やる気も自信もない子に育てたい」と思う親や教師は一人もいないはず。では、子どもにどう関わればよいのか。その答えの一つが「ピグマリオン効果」にあります。そうなんです。子どもに対してポジティブな見方をして、期待を寄せればいいのです。そのためにどうすればよいのか。「子どもの見方を変える」ことです。見方（フレーム）を変えるので「リフレーミング」と呼ばれています（以前にもご紹介させていただきました）。先ほどの「ルビンの盃」を思い出してください。もし今、絵の中に「盃」が認識されているのだとしたら、視点を変えて「人が向かい合っている横顔」を探せばいいのです。それを子どもの見方に応用します。

○せっかち→決断がはやい ○落ち着きがない→行動力がある

○あきっぽい→切り替えが早く好奇心が旺盛 ○マイペース→周囲に流されない

○引っ込み思案→聞き上手、他者を尊重できる ○頑固→信念がある

○目立ちたがり屋→表現力・発信力がある ○優柔不断→慎重で多面的思考ができる

要は、「ネガティブな見方」を「ポジティブな見方」に変えるということです。ちなみに、このリフレーミングが上手になるための秘訣が2つあります。それは、謙虚さと習慣化です。謙虚さがなく、自分の弱さと向き合えていない大人はリフレーミングが苦手です。「自分を棚に上げて、相手を評価・批判すること」に意識を向ける傾向があるからです。「自分もたくさんの弱さのある一人の人間だ」という自覚をもつことができれば、相手の弱さにも寛容になり、ポジティブな見方もできるようになります。あとは習慣化です。「違う見方ができないか」と、常に見方を変える訓練を意識的に積むことです。ポジティブな側面から子どもを見つめ直す習慣を身につけるには、訓練あるのみです。これは、全ての人間関係に応用することができます。もちろん、夫婦関係にも…。

「見方を変えて味方になる」ことで、子どもたちの成長を促していきたいものですね。

◇ 11月の行事予定

| | 曜日 | 行事予定 | 日 | 曜日 | 行事予定 |
|----|----|-----------------------------|----|----|-------------------------------|
| 1 | 土 | 5年 林間学校（～2日） 手賀の丘青少年自然の家 | 17 | 月 | 脊柱側弯症二次検診 |
| 3 | 月 | （祝）文化の日 | 20 | 木 | 6年 パラリンピック選手の講話（四中） |
| 4 | 火 | 5年 振替休業日（～5日） | 21 | 金 | 音楽発表会（児童向け） 5時間授業 |
| 6 | 木 | 全校朝会 | 22 | 土 | 音楽発表会（保護者向け） 午前日課 下校 12:30 |
| 7 | 金 | 3年 ステップアップ学習 | 23 | 日 | （祝）勤労感謝の日 |
| 8 | 土 | 技術家庭科作品展（～9日） さわやか県民プラザ | 24 | 月 | 振替休日 |
| 11 | 火 | クリーンボランティア 10:00 | 25 | 火 | 就学時健診 3時間授業（給食あり）下校 12:30 |
| 12 | 水 | クラブ活動② 卒業アルバム写真撮影（クラブ活動） | 26 | 水 | 5年 朝学習 読み聞かせ おりがみ教室（ひまわり） |
| 13 | 木 | 代表委員会（昼休み） | 27 | 木 | 柏市学力・学習状況調査 |
| 14 | 金 | 3年 ステップアップ学習 | 28 | 金 | 振替休業日（22日 土曜日分） |